

社会との対話

私たちの企業活動は、地域の方々の理解と支援なしに行うことはできません。見学や研修の受け入れ、社会貢献活動、地域とのコミュニケーションを通じて、地域社会とのさらなる信頼関係の構築を目指しています。

見学、体験教育の受け入れ

各事業所では、見学や学生の体験教育・研修を受け入れています。工場では、製品の製造工程や安全衛生および環境保全の取り組みについて説明を行っています。研究所では、農薬の開発において必要な様々な効果試験や安全性試験について説明を行っています。



インターンシップの受け入れ
(北海道工場)



高校生の研修の受け入れ
(開発研究所)

社会貢献活動、地域とのコミュニケーション

各事業所においては、野球場などの施設の開放、事業所周辺の清掃活動や地域の廃品回収への協力、地域行事への参加など様々な取り組みを行っています。

そのほか、工場では、毎年移動献血車が来場し、献血活動に協力しています。

研究所では、万一災害が発生した場合、敷地内を避難所として提供する内容の覚書を地元自治会と結んでいます。

新潟工場では、新潟北地区の日本化学工業協会加入企業と共同で、「地域対話」を継続的に開催し、地区の行政や住民の方々との意見交換、相互理解を図っています。



除雪ボランティア活動(北海道工場)



交通安全運動への協力(北海道工場)



雪中ドッジボール大会への参加(北海道工場)



工場周辺の清掃活動(新潟工場)



地域の夏祭りへの参加(新潟工場)



海岸の清掃活動(岡山工場)



工場施設の開放(岡山工場)

工場の緑化

新潟工場では、1961年の操業開始以来、周辺地域には残り少なくなった昔からの松林の保全と新松の育成、および敷地内に多く残る自然樹林の保護など、緑化を計画的に推進しています。工場内には桜の木も多く、春には地域の方々などをお招きして観桜会を開催しています。



マツクイムシ防除作業(新潟工場)



観桜会(新潟工場)